

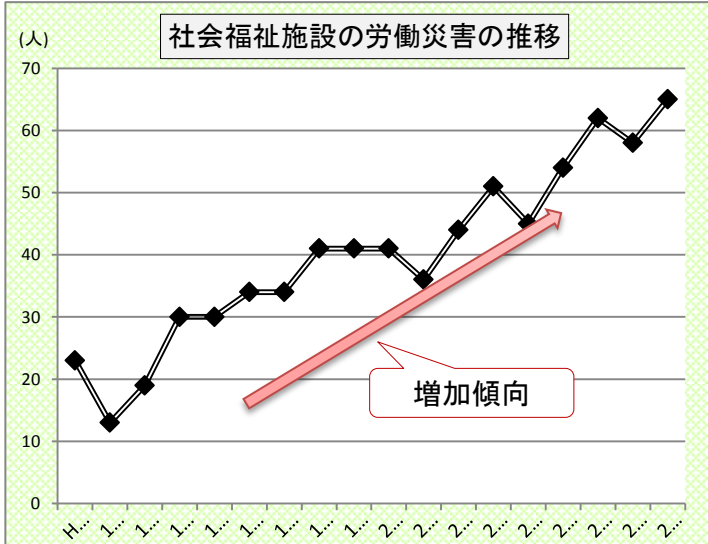
介助介護時の腰痛、通路等での転倒災害を防ぐために ＜安心・安全な施設づくり推進＞



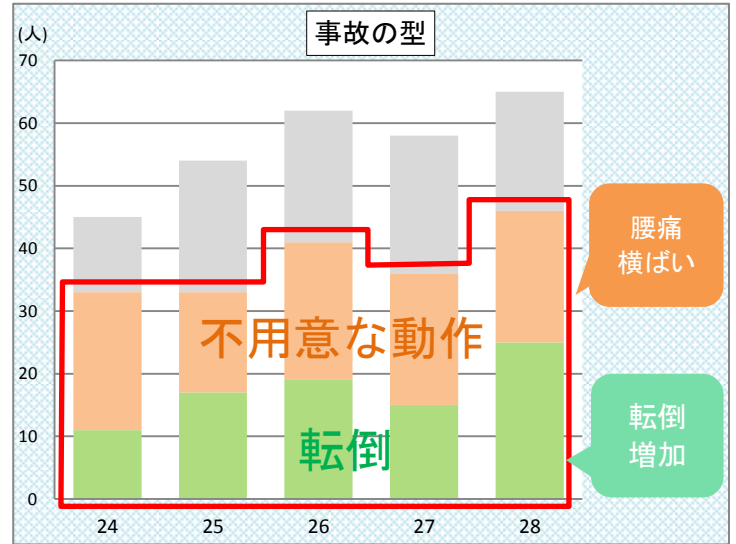
八王子労働基準監督署

社会福祉施設の労働災害の特徴

◇15年で4倍以上に増加



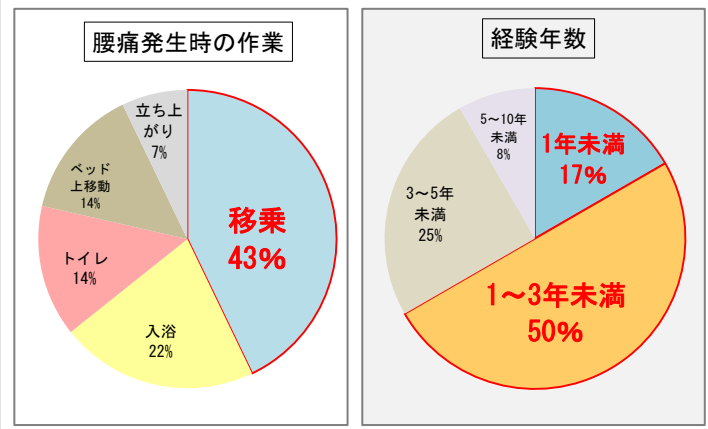
◇不用意な動作、転倒で6~7割を占める



腰痛災害の特徴

◇移乗介助時が多い

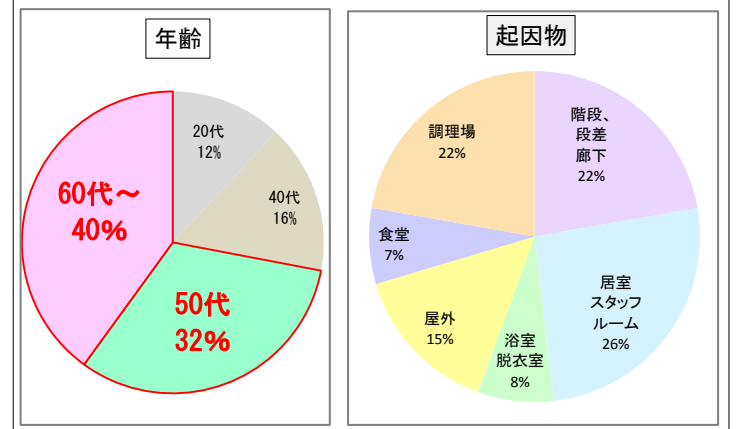
◇経験3年未満に多い



転倒災害の特徴

◇高齢労働者に多い

◇施設内、出張時に発生



理事長、施設長等の強い意志と取組が重要（トップの方針として表明）、安全の担当者の配置

トップの安全衛生方針（表明例）

例

策定日 平成 年 月 日
 揭示日 平成 年 月 日

安全衛生方針

当社は、「『職員の安全』は『利用者の安全』の礎である」との理念に基づき、安全衛生の基本方針を以下のとおり定め、経営者、職員一丸となって労働災害防止活動の推進に努めます。

安全衛生の基本方針

- 安全衛生活動の推進のための組織体制の整備、責任の所在の明確化を図る
- 労使のコミュニケーションにより職場の安全対策を講じる
- すべての職員、パート、アルバイトに安全衛生教育・訓練を実施する
- 上記の実行に当たっては適切な経営資源を投入し、効果的な改善を継続的に実施する

Safe work TOKYO 会社名 (福) ●●会
 代表者 理事長 東京太郎
 (自筆で署名しましょう)

第12次東京労働局労働災害防止計画推進中

安全の担当者（安全推進者）の配置

安全活動の経験、知識のあるものを1名選任、氏名を掲示

＜主な活動は以下＞
 職場内の作業方法、危険箇所の改善をしよう

- 職場内の4S活動(整理・整頓・清掃・清潔)
- 福祉機器等の安全な取扱い
- 床面の凸凹、水等の解消(危険箇所の解消)

働く人の安全意識の向上させよう

- 朝礼等において労働災害防止の意義、取り組みの周知
- 安全な作業(腰痛、水濡れ・段差の確認等)の教育
- 危険の周知(見える化)、私の安全宣言

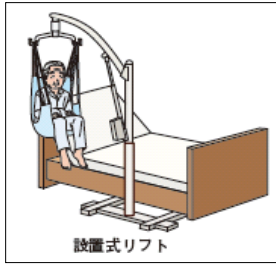
転倒危険! 災害危険!

危

介護・看護作業時の災害防止対策のポイント

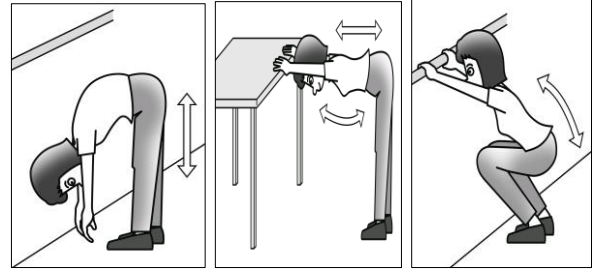
福祉機器・用具の積極的活用と使用の徹底

(「抱え上げない介護」の実現に向けて)



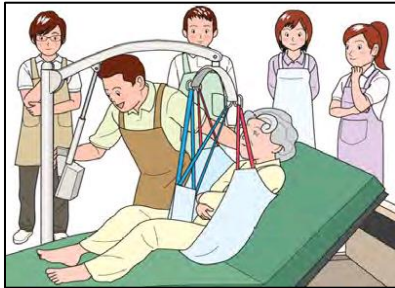
腰痛予防体操

ストレッチ例



腰痛予防の教育(特に雇入れ時)

(腰痛の発生要因と対策のポイントを教育)



<教育内容(例)>

- ・福祉機器の適正な使用
- ・移乗作業時の作業姿勢
- ・4Sの重要性
- ・効果のある体操の実施

その他腰痛予防対策

作業マニュアル作成
(介護者の状態・労働者の技能に応じた)

作業姿勢の徹底
(中腰、捻り、前屈等不自然な姿勢取らない)

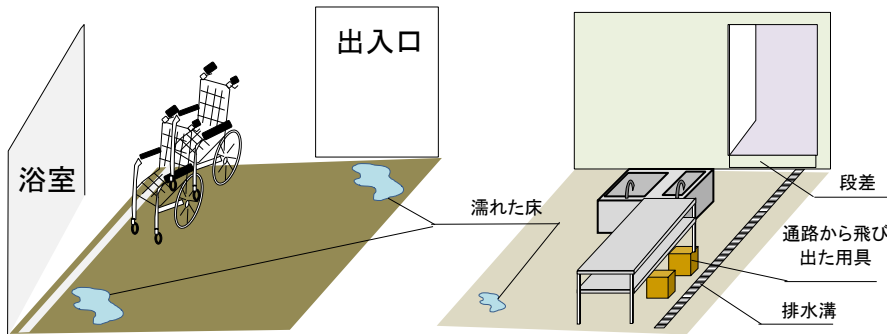
作業空間確保(4Sの徹底)

転倒災害防止対策のポイント

“すべる要因”と“つまづく要因”をなくすこと!

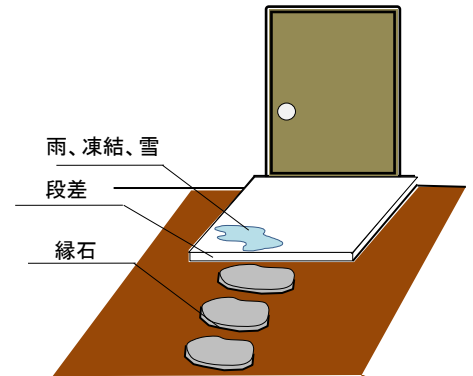
(水気の除去・4S(整理・整頓・清潔・清掃)の徹底)

職員しか立ち入らない事務所、通路、厨房、倉庫等も点検



訪問先の危険箇所の確認

(玄関口の段差・縁石、水濡れ等)



働く人に安全で安心な店舗・施設づくり推進運

小売業・飲食店・社会福祉施設の本社・本部と店舗・施設の役割に応じた全社的な安全衛生活動を展開し、労働災害を減少させることを目的とする運動

本社・本部

- 全社的な災害発生状況の把握・分析
- 安全衛生方針の表明
- 作業マニュアルの作成
- 施設の安全衛生活動の推進

施設・店舗

施設・店舗

施設・店舗

- 4S
- KY(危険予知)活動
- 危険の「見える化」
- 従業員の安全衛生教育

安全・安心な店舗・施設をつくるには?

詳しくはこちら→

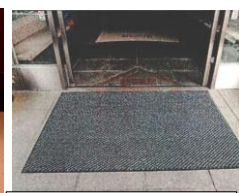
安全 安心 推進運動

検索

STOP!転倒災害プロジェクト

転倒災害防止に関する意識啓発を図り、転倒災害防止に必要な対策の実施により、職場の安全意識を高め、安心して働ける職場環境を実現することを目的とする取組

やっていますか?



転倒しにくい職場をつくるには?

詳しくはこちら→

STOP 転倒

検索